Ⅷ　資料編

1．用語解説

用　語	解　説
≪アルファベット順≫	
CSA（地域支援型農業）	生産者と消費者が連携し、前払いによる農産物の契約を通じて相互に支え合う仕組み。
EC サイト	インターネット上で商品やサービスを売買する Web サイトの総称。「ネットショップ」や「オンラインストア」とも呼ばれる。
ICT	Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。コンピュータやインターネットなどを活用し、情報を収集・共有・伝達する技術の総称。
KPI（重要業績評価指標）	目標を達成するためにその進捗等を評価するための重要な指標。
LINE オープンチャット	LINE 上で共通のテーマを持つ利用者が参加できるグループ機能。
NPO	Non（非）Profit（利益）Organization（組織）の略。「民間非営利組織」のことで、政府や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体。
SNS	ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。人と人とのつながりを促進・サポートするコミュニティ型の会員制のサービス。
≪五十音順≫【あ行】	
空家等	居住や事業などに使用されていない状態が継続している建築物とその敷地。
アクションプラン	構想に掲げる目標や方針を具体的に実現するため、実施する取組内容や実施主体、実施時期などを示した行動計画。
イノベーション	新しい技術やアイデア、仕組みなどを活用して、これまでにない価値を生み出したり、社会や産業のあり方を大きく変化させたりすること。
雨水流出抑制	雨水を一時的に貯留又は浸透させ、大雨時における河川や排水路への急激な流出を抑える取組。
【か行】	
カーボンニュートラル	CO2（二酸化炭素）をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、 森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。
外水氾濫	河川の水位上昇により堤防から水があふれたり、堤防が決壊したりすることで、河川の水が周辺地域に流れ込み浸水する現象。
核家族	夫婦のみ、夫婦と未婚のこども、ひとり親と未婚のこどもなど、夫婦または親子を中心に構成される世帯。
果樹栽培サポータークラブ	JA 尾張中央が主体となり、特産品のモモやブドウなどの果樹産地を支えるため作業支援を行う組織。
可処分所得	個人や世帯の所得から税金や社会保険料を差し引いた後に自由に使える所得。
危険・迷惑な空き家	倒壊や衛生、防犯上の問題など周辺に悪影響を及ぼすおそれのある空き家。
既存集落	市街化調整区域において、一体的な日常生活圏を構成していると認められ、かつ相当数の建築物が連たんしているもの。本構想では、東部地域のうち桃花台ニュータウン以外のエリアを指す。
既存ストック	これまでに整備された都市基盤施設、建築物などのこと。
クラウドファンディング	インターネットなどを活用して、内容に賛同した不特定多数の人から資金を調達する仕組み。

用　語	解　説
健康いきいきポイント	ポイント対象となる健康づくりに取り組むことでポイントが得られ、定められたポイント数に達すると、それに応じてあいち健康づくり応援カード「まいか」や市内限定商品券（プレミアム商品券）と交換できる制度。インセンティブにより行動変容に結びつける目的で実施している。
耕作放棄地	過去 1 年以上耕作されておらず、今後数年の間に再び耕作する意思のない農地。
公式ハッシュタグ	SNS で情報を集約・発信するために設定された共通のキーワード。
交通空白地域	最寄りの鉄道駅やバス停まで距離があるなど、日常生活における移動にお困りごとを抱えている地域。
高付加価値	商品やサービスに独自の価値を加え、高い評価や収益を生み出すこと。
高齢化率	65 歳以上人口が総人口に占める割合。
こまき支え合いいきいきポイント制度	サロンや認知症カフェ、介護施設などでの運営補助、高齢者の困りごと支援に協力した人へ市内限定商品券と交換可能なポイントを付与することで、地域の支え合いの輪を広げ、協力者の介護予防、健康づくりを図る制度。
こまき巡回バス「こまくる」	公共交通による市民の移動手段の確保を主な目的として、小牧市と運行事業の協定を締結した交通事業者が運送を行う乗合バス。
小牧農業振興地域整備計画	市が将来にわたり優良農地を確保し、農業の健全な発展を図るため、「農業振興地域の整備に関する法律」に基づいて策定する計画。
コミュニティ	区（自治会）・小学校単位の活動を含め、一定地域での居住に基づく人々の集団。
コミュニティビジネス	地域課題の解決と事業収益の両立を目指す地域密着型の事業。
【さ行】	
市街化区域	都市計画区域のうち、市街地として積極的に開発・整備する区域で、既に市街地が形成されている区域及びおおむね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。
市街化調整区域	都市計画区域のうち、市街化を抑制すべき区域。
シビックプライド	地域に対する誇りや愛着、主体的にまちづくりへ関わろうとする意識。
市民意識調査	市の現状に対する市民の評価や満足度などを計るための調査。小牧市では、まちづくり推進計画の進捗状況の把握のため、毎年実施している。
社会実験	新しい制度や施策、施設の活用方法などについて、本格的に導入する前に一定期間試行し、その効果や課題を検証する取組。
社会動態	転入や転出などの人口移動によって生じる人口の増減。
住工共生	住宅地と工場・事業所が、それぞれの操業環境や住環境を確保しながら共存していくこと。
種鶏場	採卵鶏や食肉用鶏の親となる種鶏を飼育し、ひなを生産するための受精卵を生産する施設。
親水空間化	河川や池などの水辺を身近に親しめる空間として整備すること。
スタートアップ	新しい技術や発想を活用し、新たなビジネスや市場の創出に挑戦する取組。
住まいのコンシェルジュ	空き家の所有者や利活用希望者から、売却・賃貸、相続、管理、処分などの相談を受け、市職員と各分野の専門家が総合的に支援する相談窓口。
生産年齢人口	15 歳以上 65 歳未満の人口。
生成 AI	大量のデータを学習し、利用者の指示に応じて文章、画像、音声、プログラムなどの新しい内容を生成する人工知能。
想定濃尾地震	明治 24 年に発生した日本最大級の内陸直下型地震を想定した大地震。
ゾーン別人口増減図	地域を複数の区域（ゾーン）に区分し、それぞれの区域における人口の増減状況を地図上で視覚的に表した図。

用　語	解　説
【た行】	
第二創業	既存の企業や事業者が、これまで培ってきた経営資源やノウハウを活用しながら、新たな事業分野への進出や新商品・新サービスの開発などに取り組み、実質的に新たな創業を行うこと。
太良まめなしの里	小牧市の東部丘陵地（大草地区）に位置する緑地であり、周辺に３つの農業用ため池と農地及び愛知県指定の天然記念物「マメナシ自生地」などが残る豊かな自然環境を有した場所。
建物全壊率	地震や洪水などの自然災害によって全壊した建物の割合。
地域アプリ	地域情報の発信や住民同士の交流、行政手続等をスマートフォンで利用できるアプリ。
地域協議会	近年の都市化の進展やライフスタイル、価値観の多様化などを要因とする地域の“絆力”の低下や少子高齢化の進行に伴う様々な地域課題に対して、区（自治会）やその他の地域団体、地域住民の方々が連携協力し、地域づくりを補完する小学校区の新しいコミュニティ組織。
地域共生社会	制度や分野ごとの枠を超えて、地域住民や行政、福祉関係者、地域団体などが支え合い、一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会。
地域情報誌	地域のイベントや暮らしに関する情報を掲載し、住民へ情報発信する刊行物。
地域通貨	特定地域内で利用できる独自の通貨やポイント制度。
地域内循環	地域の中でお金・人・資源などを循環させ、地域の活力や持続可能性を高める考え方。
地域旅客運送サービス	地域住民や来訪者の移動を支えるため、鉄道、路線バス、タクシー、乗合運送などにより提供される旅客運送のサービス。
地区計画	地区の特性に応じて、建築物の建築形態、公共施設その他施設などの配置を定めることで、一体としてそれぞれの区域の特性にふさわしい状態の良好な環境の各街区を整備し、開発し、及び保全するための都市計画法に基づく制度。
地産地消	地域で生産された農産物を、その生産された地域内において消費すること。
デジタルマップ	電子データとして閲覧・活用できる地図。
転出超過	一定期間において、その地域から転出した人の数が転入した人の数を上回っている状態。
桃花台線（ピーチライナー）	小牧駅と桃花台ニュータウンを結んでいた新交通システム。
桃花台線旧車両基地用地	2006 年（平成 18 年）に廃止された桃花台線（ピーチライナー）の車両基地として利用されていた土地。
桃花台ニュータウン	愛知県の新住宅市街地開発事業により、小牧市の東部地域のほぼ中心に整備された新興住宅地。昭和 55 年８月に入居が開始され、人口２万人を超える生活圏に成長したが、急速な高齢化など、様々な課題が顕在化してきている。
東部地域まちづくり活動パートナーシップ制度	東部地域のまちづくり活動を支援し、多様な主体の連携を促進する制度。
特殊公園	「都市公園法」に基づく都市公園の一種で、一般的な遊具や休憩のための公園とは異なり、歴史・文化・自然環境など特定の目的や資源を中心に整備される公園。
都市インフラ	道路、橋、上下水道、公共施設、通信網など、社会や経済活動、市民生活を支える基盤となる施設や設備。
都市計画道路	都市の骨格を形成し、安心で安全な市民生活と機能的な都市活動を確保する、都市交通における最も基幹的な都市施設として「都市計画法」に基づいて都市計画決定された道路。

用　語	解　説
都市公園	「都市公園法」第 2 条に基づいて、国や地方公共団体が設置する公園または緑地のこと。
都市公園内行為許可申請	都市公園内でイベント等を行う際に必要な許可申請手続。
土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊、土石流又は地滑りなどが発生した場合に、建築物の損壊が生じ住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域として、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」第９条第 1 項に基づき都道府県知事が指定する区域。
【な行】	
内水氾濫	短時間の大雨などにより、雨水排水施設や河川への排水能力を超える雨水が市街地に滞留し、道路や住宅地などが浸水する現象。
名古屋コーチン	全国的に知られている地鶏。明治 38 年に日本家禽協会から国産実用品種第一号の鶏として正式に認定された。小牧市では「名古屋コーチン発祥の地　小牧」として、小牧商工会議所を中心とした PR 活動や名古屋コーチンを素材にした各種製品の開発・販売などが精力的に行われている。
南海トラフ地震	日本列島の太平洋沖「南海トラフ」沿いの広い震源域で連動して起こると警戒されているマグニチュード 9.0 級の地震。
農業公園	身近な農業を通して食の大切さを理解する場とするとともに、里山を活かした自然環境とのふれあいを通して農業振興の発信の場となることを目指す公園。
農用地区域	将来にわたって農業に利用するため、市が特に保全すべき農地として指定した区域。
【は行】	
配食サービス	高齢者や障がい者、病気療養中の方などに対し、自宅へ弁当や食事を届けるサービス。
病児・病後児保育	病気の治療中または回復期にあり、集団保育などが難しいこどもを、保護者が仕事などで家庭保育できない場合に、専用施設などで一時的に預かる保育サービス。
プラットフォーム	住民、事業者、関係する団体、行政など東部地域に関係する様々なまちづくりの主体となる人たちが、つながることができる場。将来的には関係する団体・人が参加をして方向性等を議論・共有する組織に発展していくことも想定される。
ベンチャー企業	革新的なアイデアや技術により新しいビジネスをする企業。
【ま行】	
まちづくりワークショップ	地域の課題や魅力について住民、事業者、団体、行政などが意見を出し合い、話し合いを通じてまちづくりの方向性や取組について考える参加型の会議・意見交換の場です。
まちのコンセプト	これまで本市がまちづくりの機軸として掲げてきた 3 つの都市ヴィジョンに込められた考え方を包含し、これからのまちづくりの方向性を一体的に表現するもの。
まちレポこまき	道路や公園等の不具合を市民が市公式 LINE を通して通報できる仕組み。
【ら行】	
ライフステージ	乳幼児期、青壮年期、高齢期等の人の生涯における各段階をいう。
来訪者	居住者・非居住者を問わず、地域や施設、イベント等を訪れた人を指す。
リノベーション	既存住宅において価値を高めるための改修。
リポスト	SNS で他者の投稿を共有すること。
老年人口	65 歳以上の人口。
【や行】	
結ネット	自治会などの地域活動における連絡や情報共有のデジタル化を図るための連絡アプリ。
優良農地	将来にわたり農業利用を確保することが望ましい農地を指し、農業用の用排水施設が整備された農地や、まとまった広がりのある農地が該当する。

用　語	解　説
【わ行】	
ワンセンター方式	中心部に商業施設、その他利便施設を集約させる都市計画。